

令和3年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

和庄中学校区 校番 10 学校名 和庄中学校

a 学校教育目標	夢を持ち 自ら学ぶ	b 経営理念 ミッション ・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 各個人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を培う。 社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養う。 <ビジョン>(将来の学校像) 郷土を愛する心豊かでたくましい生徒を育む学校
----------	-----------	--------------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	和庄中学校区では、児童生徒の「自立」が当面の課題である。そのため、育成すべき資質・能力の重点は、引き続き、「主体性・積極性」とする。授業改善では主発問を中心に研究し、自らの考えを表現し、学びを深める生徒を育てる。 生徒と向き合う時間を確保する方策は、各学年フロアに、「学年部屋」を設けたり、デイリーノートの提出を促したり、日常的なコミュニケーションを高める環境をつくる工夫を行う。		
------------------------------	---	--	--

育成すべき資質・能力	知識・情報活用能力 思考力・判断力・表現力 主体性・積極性
------------	-------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	10月			2月		
						1 達成値	2 達成度	k 評価	1 達成値	2 達成度	k 評価
*** (貫)	学力の向上	思考を働かせる場をつくる	50分間に一回は、全ての生徒が自分の考えを表現する場をつくる	「授業中しっかり考えている」と答える生徒の割合	80%						
		分かる授業を創る	ICTを積極的に活用し、ユニバーサルデザインの充実を図る	「授業はよく分かる」と答える生徒の割合	80%						
** (貫)	「和庄中学校区スピリット」に基づく生徒の育成	礼儀正しく節度を守る生徒を育てる	教職員が率先し、生徒に手本を示す	「立ち止まって丁寧に挨拶ができる」と答える生徒の割合	80%						
		学校や社会に貢献する生徒を育てる	生徒会活動のPDCAサイクルを仕組む	「生徒会活動は、学校や地域に役立っている」と答える生徒の割合	80%						
* (貫)	健康増進・体力の向上	メディアコントロールを推進する	デイリーノートを活用し、一週間及び毎日の計画を立てさせる。	「メディア等の使用時間を決め、適切に使用している」と答える生徒の割合	80%						
働き方改革	自己の能力を発揮できる職場	児童生徒と向き合う時間の確保	各階に学年部屋を設ける デイリーノートの提出を促し、生徒との繋がりを強くする	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80%						
		長時間勤務の削減	仕事の効率を図り、日々のスケジュール管理を行う	時間外勤務が月45時間(年間360時間)までの教職員の割合	100%						

【k:評価】
 A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60